

# 武蔵野市第六期長期計画「討議要綱」についての意見

日本共産党武蔵野市議団

2019年1月31日

※タイトルは「討議要綱」に合わせてあります。

## 2. 基本的な考え方

地方自治体は住民福祉の増進が役割です。住民の生命、生活、権利をどのように守り、改善していくか、憲法で保障された基本的人権や生活権保障を一步でもすすめる立場が「長期計画」の基本原則としてつらぬかれ、計画化されなければならないと考えます。

近年の「構造改革」路線や地方における「行財政改革」路線は、雇用を破壊し、社会保障を後退させ、格差と貧困を拡大してきました。その結果、不況、営業不振、労働環境の悪化、社会保障の破壊など多くの住民に苦しみをもたらしました。少子高齢化の進行や無縁社会の広がりもこうした政治・経済の中で進んでいます。日本が今の状況から抜け出すには、正規雇用化をはじめとする賃上げ、社会保障を削減から拡充へ転換すること、などが必要です。長期計画の策定にあたっては、市民の生活悪化の根本にどういう原因があるのかしっかり検証したうえで、対策をたてていくことが大事だと考えます。

## 4. 市政を取り巻く状況について

### (2) 人口推計

人口推計から政策をたてるのは大変難しい側面があります。例えば、出生率の状況と保育園の待機児童数は必ずしも連動しません。経済状況や女性の社会進出などが影響するからです。ですから、人口推計に過度に頼るのはまちがいのもとにもなり得るものであり、多面的な視点が求められます。

### (3) 財政状況

行政サイドからは、常に厳しい財政見通しが語られ、そのことが市民負担増、外部化（民間委託）、などの理由にされてきています。しかし、武蔵野市は全国的にみてもトップレベルの財政力をもっています。この財政力をどのように市民の基本的人権や、市民自治の拡充、生活環境の整備に使うかが問われています。

## 2) 武蔵野市の財政の状況と課題

財政力指数は「1」を標準としており、2017年度において武蔵野市は「1.511（3カ年平均）」と「多摩26市の平均0.986（3カ年平均）」よりもかなり高くなっています。これは標準的な財政規模よりも1.511倍の財政力があることを示しています。武蔵野市の財政状況は、基礎指数で見ると限り極めて健全な財政状況にあります。

財政が厳しいと言いながら、積立金現在高は 2017 年度決算で約 426 億円（一般会計では 414 億円）に対して借金残高である借入金現在高は約 321 億円です。借金よりもため込んだ基金のほうが多い裕福な自治体となっています。基金は毎年増加の一途です。市民 1 人あたりの基金残高は 26 万 7 千円と多摩 26 市中でダントツです。426 億円の一部を使えばかなりの市民要求に応えることができます。

### 3) 財政見直し

極めて固い見積もりである当初予算ベースにおいても、2017 年度決算では一般会計で 28 億円もの黒字となっており、過去 5 年間の平均でも 25 億円以上の黒字となっています。都市インフラや公共施設更新等の費用は、武蔵野市の財政力のもとで計画的に進めることが十分にできると考えられます。

「基金残高の増加や市債残高の減少などは、前回計画よりも進んでいる状況となっている」とあります。第五期長期計画・調整計画時に策定した財政見直しを見直して、責任ある財政計画を立てるべきと考えます。

## 5. 第六期長期計画における基本目標等について

### (2) 基本目標について

5 つの基本目標が掲げられています。松下市長は、市長に就任した最初の施政方針で、4 年間の市政運営の基本政策として 8 つのまちづくりを掲げました。それは、①「子ども子育て応援宣言のまち」、②「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」、③「個性かがやく活力あるまち」、④「より進んだ市民参加に挑戦するまち」、⑤「歩いて楽しいまち、安全なまち」、⑥「平和と文化を創るまち」、⑦「脱原発、緑あふれるまち」、⑧「健全財政を市民のために活かすまち」、の 8 つです。これが、第六期長期計画の基本目標に反映されていくことが必要だと考えます。特に、第五期長期計画にあった「平和で美しいまちづくり」という観点（これは松下市長の「平和と文化を創るまち」とも重なる）が第六期長期計画の基本目標に入っていないませんが、ぜひ入れていただきたいと考えます。

### (3) 基本課題について

#### 課題 D 公共施設・都市基盤の再構築

「事務事業の見直しの継続や、様々な行政サービスの水準や受益者負担の適正化、……」とあります。第五期長期計画策定時よりも財政見直しが上向いているもとので、サービス削減や市民負担増を進めるべきではありません。

また、「住民の暮らしに根付いている公共施設等の再構築を進めるうえでは、必要な情報を市が正しく提示し、市民全体でこの重要な課題を共有しながら、公共施設等の適正な規模や水準も含め、市民との対話を通して、共に知恵を出し考えながら取り組んでいく必要がある」とあります。公共施設の削減ありきではなく、社会保障の基盤整備など必要や公共施設は拡充していくという視点も必要です。

#### 課題 E 公共施設・都市基盤の再構築

「地域における公共的な課題はますます多様化・複雑化しており、これらに適切に対応していくためには、行政中心の取り組みだけでは限界がある。多様化する地域の課題には地域の力による支え合いや参加・協働の取り組みが不可欠であり、地域でつながることの持つ価値や重要性を再認識し、今

の時代にあったつながりの方策を考えていく必要がある」とあります。「協働」はよく使われる言葉ですが、資金や人手などの行政資源を削る安上がりの行政を進めるための「協働」であってはならないと考えます。市民と行政が具体的な事業について協力する協働はあり得ると思いますが、行政の責任をあいまいにする「協働」はあり得ません。「協働」の考え方を整理する必要があります。

## 6. 分野別の課題

### (1) 健康・福祉

#### 7) 生活困窮者への支援

「貧困の連鎖は断ち切らなくてはならない」とあります。(2) 子ども・教育の項にもあるように、子どもの貧困と合わせて、総合的な対策をぜひ進めてください。

#### 9) 福祉サービス再編の検討

「安定的な福祉サービスを確保するため、福祉サービスの果たすべき意義や役割を再整理し、持続可能な制度の構築に向けた取り組みを進めていく」とあります。これは具体的にどういうことを想定しているのでしょうか。住民の福祉を増進する立場での対応が必要です。

### (2) 子ども・教育

#### 2) 妊娠期からの切れ目ない支援

「みどりのこども館については、国の構造改革特区を活用して児童発達支援センターとして位置付け、それぞれの子どもの発達段階に応じた支援体制を強化する」と記述があります。「構造改革特区を活用」とは、どのようなことを想定しているのでしょうか。

#### 3) 子ども・子育て家庭へのセーフティネットの充実

「子どもの将来が貧困等の環境要因に左右されることがなくなるよう」と記述があります。貧困の連鎖により、格差と貧困の固定化・拡大が指摘されています。子どもの貧困対策は重視して取り組んでください。

#### 4) 子どもの医療費助成の拡充

「子どもの医療費を所得制限なく 18 歳まで無償とする仕組みを構築する」と記述があります。これは、松下市長の公約でもあり、ぜひ進めてほしいと考えます。

#### 5) 保育の質の確保・向上と待機児童対策の推進

「待機児童対策については、……保育施設の整備を継続的に実施するとともに、既存施設の有効活用も合わせて検討していく」と記述があります。武蔵野市は保育所整備率が低く、認可保育所のさらなる増設が必要です。また、認可外保育園の保育料補助の引き上げを検討して下さい。

既存施設の有効活用については、「保育の質の確保・向上」という点が重視されなければなりません。

## 6) 小学生の放課後施策の充実

「学童クラブについては、……4年生以上の受入れについて検討を進める」と記述があります。これもぜひ進めてほしいと考えます。学童保育の時間延長についても記述して下さい。

## 8) 子育て支援施設のあり方

「公立保育園については、市内の保育の状況や外部有識者など幅広い意見を踏まえて、その役割とあり方の検討を進める」と記述があります。これはどういう意味でしょうか。9園あった認可保育園のうち、5園の設置運営主体が武蔵野市子ども協会に変更（民営化）されていますが、残りの4園は公立として残すべきです。

## 10) 義務教育期間の学校教育のあり方

「小中一貫校ではなく、従来環境で、引き続き本市の学校教育に求められる目的、目標の達成を目指す」と記述があります。施設一体型小中一貫校の設置による小中一貫教育の導入はしないという方向性が示されたことを歓迎します。

## 11) 学校教育の質の向上を図るための環境整備

30人以下の少人数学級について、ぜひ検討を進めて下さい。

## 14) 安全・安心かつ適切な教育環境の確保と学校改築の着実な推進

「学校改築にあたっては、……地域の実情を踏まえた多機能化及び複合化も見据えて、着実な整備を進める」と記述があります。「多機能化」や「複合化」とは、具体的にどのようなものを想定しているのでしょうか。

## (3) 文化・市民生活

### 3) 未来へつなぐ平和施策の推進

「当時の体験者が高齢化していく中で、戦争の悲惨さと平和の大切さを次世代に伝えていく必要がある」と記述されています。「自治基本条例（仮称）骨子案」でも、「第8章 平和及び国際交流」として、独立して章立てがされているように、平和は全ての基礎です。平和施策を推進することをもっと強調してほしいと考えます。

## 7) 市民の誰もがスポーツを楽しめる環境の整備

「温水・屋外プールは今後のあり方を検討する」とありますが、具体的にはどのような検討をしようということでしょうか。

## 10) 市民の誰もがスポーツを楽しめる環境の整備

「アンテナショップ麦わら帽子については、改めて設立当初の理念に立ち返り、その後の小売業を巡る環境変化を踏まえ、交流の基盤としてのあり方を、友好都市等を交えて多角的に検証する」と記述があります。アンテナショップ麦わら帽子は、この間厳しい経営状況が続いていますが、具

体的にどのような検証を考えているのでしょうか。

#### (4) 緑・環境

##### 4) 公共施設の環境配慮の推進

「民間の開発や建物の建設等についても環境負荷の少ない省エネルギー、再生可能エネルギー手法の普及を奨励していく」という記述があります。武蔵野市から自然エネルギーの普及を推進し、原発ゼロの社会をつくる流れをぜひ進めてほしいと考えます。

##### 8) ごみ減量と合理的処理の推進

「ごみ処理に係る経費や環境負荷、最終処分場の状況など本市のごみ処理について見える化を進め、市民一人ひとりのごみ減量と適正分別の行動につながるような啓発事業を実施する」という記述があります。市民一人ひとりのごみ問題に関心を強めていくことは大変大事ですが、同時にごみを減らすためには社会全体の仕組みを変えなければなりません。また、「ごみ処理に係る経費」の「見える化」は大事だと思いますが、これだけ費用がかかっているのだからごみ袋の料金を上げる必要があるという論拠にはすべきではありません。

#### (5) 都市基盤

##### 2) 将来にわたり持続性ある都市基盤づくり

###### ②下水道

「包括委託等の民間活用を含めた体制整備を検討していく」という記述があります。なぜ下水道事業の民間委託が必要なのでしょう。

「下水道使用料等の適切な見直しを行っていく」とあります。受益者負担論を徹底すると、大幅な値上げになってしまいます。その利益を享受している人は受益者として負担増を甘受すべきだということになれば、何のために税を徴収してそれを様々な施策にあてているかの意味自体が問われてしまいます。しかも、何をもって「適正な」とするかも明らかではありません。増税・負担増が相次ぐ中、公共料金の値上げを極力抑えていくことこそが必要です。市民生活の実態を踏まえる必要があります。

###### ③水道

「安全で安定的な水道供給の持続性を高めるため、都営水道への一元化を目指した取り組みを推進していく」と記述があります。リスク管理の観点から言えば、阪神大震災の際もあったように運営規模が小さいほうが体制が行き届くため復旧が早かったという例があります。そのような検討も必要ではないでしょうか。

##### 3) 誰もが利用しやすい交通環境の整備

「自転車駐車場の確保を進める」とあります。駅周辺の不足している駐輪場の確保に努めてください。

「ムーバスや自転車駐車場の事業展開や料金体系については、今後の市民サービスのあり方、受益者負担や公平性、事業効率性等の様々な視点から議論が必要である」との記述があります。これは、ムーバス料金や自転車駐車場（駐輪場）の料金の値上げを検討するということでしょうか。市民のく

らしが大変な時に市民負担増をすべきではありません。

ムーバスの路線拡充や時間延長などの要望が市民の中から出ています。積極的に進めていくように検討を行ってください。また、武蔵野東部地域や西部地域から市役所方面行きのバスなど、バス路線の充実を検討して下さい。

#### 4) 安全で快適な道路ネットワークの構築

「外郭環状線の2は、沿線地域と連携を図りつつ、『検討のプロセス』に沿った対応と住民への丁寧な対応を都に求めていく」とあります。外環の2については反対をもりこむことを求めます。

#### 5) 安心で、心地よく住み続けられる住環境づくり

「市営住宅や福祉型住宅については、適正な管理・運営を図るとともに、新たな住宅セーフティネットと関連し、民間賃貸住宅等のストックとしての活用や今後の市営住宅・福祉型住宅の整備のあり方やその数について議論が必要である」と記述があります。「市営住宅・福祉型住宅の整備のあり方やその数について議論が必要である」というなら、数を増やすことを議論すべきです。世界でも貧弱な日本の公共住宅に対する公的責任をさらに切り縮めるようなことがあってはなりません。

あわせて、民間住宅に住む人への家賃助成について検討することを盛り込むことを要望します。

#### 6) 活力とにぎわいある駅周辺のまちづくり

##### ①吉祥寺駅周辺

「武蔵野公会堂については、文化施設・ホール等のあり方についての議論を踏まえ、周辺街区の動向に注視しながら、まちづくりと一体的に検討を進める」とあります。武蔵野公会堂の建て替え問題は、なかなか進展がありません。この第六期長期計画期間中にどこまでの進展を考えているのでしょうか。

##### ②三鷹駅周辺

「自転車駐車場として利用している市有地については、現状の機能を維持しながらも、産業・文化振興、広場機能など様々な視点を踏まえ、補助幹線道路の完成後の高度利用等のあり方について検討を進める」とあります。この実現性の見通しはあるのでしょうか。

#### (6) 行・財政

##### 3) 公共施設等の再構築

「施設の運営方法は、民間企業による運営も含めて検討すべきである」と記述されていますが、安易な民間委託は住民サービスの切り捨てにつながります。

##### 4) 社会の変化に対応していく行財政運営

###### ①健全な財政運営

「受益者負担の公平性を考慮した使用料・手数料の見直し」とあります。「受益者負担の公平性」とは、いかなるもののでしょうか。下水道の項でも述べましたが、受益者負担論を徹底すると、大幅な

値上げになってしまいます。

国民健康保険税について、「給付と負担の適正化の観点から、決算の補填等を目的とする法定外一般会計繰入金の段階的解消を目的とする法定外一般会計繰入金の段階的解消・削減が求められており、現在、計画を策定中である」とあります。「法定外一般会計繰入金」を解消してしまえば、国保税は大幅に上昇し、市民生活に大きな影響が出ます。国や都に対して財政責任を果たすように強く求めるとともに、引き続き一般会計からの必要な繰入を行うべきです。

### ③財政援助出資団体の統合と自立化

財政援助出資団体については、「より効率的・効果的な団体運営・サービス提供が必要」とありますが、コスト削減の視点でのみ評価していくと、委託事業の質や労働条件の低下がもたらされることになり問題があります。

### 5) 多様な人材の育成と組織の活性化

「一般技術職・専門職の体系的な人材育成について、職員採用や業務の外部化のあり方と合わせて検討する」とあります。公務労働は、労働者の待遇の問題が住民サービスに大きく影響するという特性があります。安易な民間委託は住民サービスの切り捨てにつながります。慎重に検討すべきです。

一方、「高度化・複雑化する課題への適切な対応には職員の専門性の強化も必要である」との記述もあります。公務労働の特徴として、安定性・継続性・専門性があげられます。専門性の強化を進めることは必要です。だからこそ、安易な民間委託をするべきではありません。

以上